

理事（常勤の理事）選任に係る透明性の確保について

公益財団法人環境科学技術研究所（以下「研究所」という。）は、この度、有能で実績のある人材の確保を募るとともに、理事（常勤の理事）の選任までの透明性を確保するため、理事（常勤の理事）候補者の公募を行いました。研究所は、外部委員を含む理事候補者選定委員会を2度開催し、書類審査、面接を経て理事（常勤の理事）候補者1名を選考しました。

選考された候補者は、令和4年6月22日に開催した定時評議員会において出席評議員全員一致で理事として選任され、同日に開催した令和4年度第2回理事会において、常勤の理事に選定されました。

1. 選考過程

令和4年3月11日～令和4年4月15日まで、理事（常勤の理事）の公募を行ったところ、1名の応募がありました。

令和4年4月27日開催の令和4年度第1回理事候補者選定委員会において書類審査を行い、続いて令和4年5月20日開催の第2回理事候補者選定委員会において理事（常勤の理事）候補者に対する面接を行い、候補者として竹内大二を選考しました。

2. 選考された理事（常勤の理事）候補者

〈氏名〉	〈年齢〉	〈前職〉
竹内 大二	62歳	大学共同利用機関高エネルギー加速器研究機構 リサーチアドミニストレーター

3. 選考理由

竹内 大二は、昭和59年に科学技術庁（現文部科学省）に入省後、政府行政機関、科学技術関係法人、研究所等の現場において、科学技術行政等の政策や研究推進、財務及び人事などの管理運營業務に携わる等、その経験及び資質は当研究所が求めている希少な人材であり、今後の研究所の発展に寄与することが大いに期待される。